

# 大和言葉の経営学



たかはし のぶお

高橋 伸夫

東京理科大学経営学部 教授・組織学会 会長

2023年 7月 6日 (木) 19:00~20:30

会場：コンファレンススクエアエムプラス  
(10F グランド)

交通：JR東京駅 丸の内南口から徒歩2分

<https://www.marunouchi-h-c.jp/building/2/conference>

参加費：組織学会会員1,000円・一般2,000円

定員：会場100名(要事前予約)・オンライン参加

参加申込専用サイト：

<https://forms.gle/VjFwknbnNfnBnNpSy8>

## (著書紹介)



『虚妄の成果主義—日本型年功制復活のススメ』  
(日経BP 2004年 単著)

『日本企業の意思決定原理』  
(東京大学出版会 1997年 単著)

『経営学で考える』  
(有斐閣 2015年 単著)

- 1957年 北海道小樽市生
- 1980年 小樽商科大学商学部卒業
- 1984年 筑波大学大学院社会工学研究科退学
- 1984年 東京大学教養学部助手 (統計学)
- 1987年 東北大学経済学部助教授 (経営学総論)
- 1991年 東京大学教養学部助教授 (統計学・経営政策科学)
- 1994年 東京大学経済学部助教授 (経営学・経営組織論)
- 1996年 東京大学大学院経済学研究科助教授
- 1996年 東京大学大学院経済学研究科教授 (経営学・経営組織論)
- 2023年4月より現職。学術博士 (筑波大学, 1987)。

研究者として駆け出しの頃、経営学や組織論なんて所詮輸入学問だと開き直っていた。ところが、企業で働く人と話す時間が増えて、日本企業が抱える問題をどうして研究しないんだと詰め寄られた。半ば副業として始めた「ぬるま湯」「見通し」「やり過ごし」の研究。なんだかんだで、もう35年もやっている。ここらへんで、その悪戦苦闘ぶりをまとめてお話しておきたいと思います。



しみず たかし

清水 剛  
(東京大学 教授)

## (主な著書)

『感染症と経営：戦前日本企業は「死の影」といかに向き合ったか』  
清水剛 著 (中央経済社 2021年4月)

『合併行動と企業の寿命—企業行動への新しいアプローチ』  
清水剛 著 (有斐閣 2001年10月)

## (司会者紹介)

## (お問い合わせ)

特定非営利活動法人 組織学会  
(企画・定例会委員会)

URL： <https://www.aaos.or.jp>

TEL： 03-5220-2896 (平日11時~17時)

メール： [aaos.seminar@gmail.com](mailto:aaos.seminar@gmail.com)

協力：三菱地所株式会社